

# SGI 1100 Server クイックスタートガイド

---

このガイドは、パッケージの開梱から SGI 1100 Server の起動までの、基本的なシステムの設定情報を提供します。

- サーバのパッケージの開梱と内容物の確認
- ハードウェアの仕様
- 消費電力
- 放熱機構
- 設置場所の選択
- 外部装置の接続
- 本体前面の制御スイッチとライトの使用
- システムの起動
- 電源投入時のトラブルについて

その他の構成情報と交換可能なコンポーネントのインストール方法についての詳細は、『SGI 1100 Server ユーザーズガイド』を参照してください。

World Wide Web から SGI のマニュアルを入手するには、<http://techpubs.sgi.com> の SGI Technical Publications Library にアクセスします。キーワードやマニュアル名を使って必要な情報やマニュアルを検索してください。

## サーバのパッケージの開梱と内容物の確認

梱包からサーバを取り出して、次のものが入っているか確認します。

- SGI 1100 システム
- SGI 1100 Server クイックスタートガイド (このマニュアル)
- SGI 1100 Server ドキュメント CD
- リソース CD (デバイスドライバを含む)
- ラックマウント設置用のキット

輸送中の不適切な扱いによって、内容物が損傷していないことを確認してください。中身が損傷しているように見える場合は、すぐに運送業者に連絡します。

後で使えるように、箱と梱包資材を保管しておきます。

## ハードウェアの仕様

SGI 1100 Server は、標準の 19 インチラックに搭載するように設計されています。SGI 1100 Server を 19 インチラックに搭載する方法については、『SGI 1100 Server ユーザーズガイド』を参照してください。

表 1 は、SGI 1100 Server システムの物理的仕様を説明しています。

**表 1** SGI 1100 Server 物理的仕様

高さ	1 ユニット (4.45 cm、1.75 インチ)
幅	48.25 cm (19.0 インチ)
奥行き	53.85 cm (21.2 インチ)
重量	11 kg (24.2 ポンド)、最大構成の場合
温度	+5 °C (41 °F) ~ +35 °C (+95 °F) (稼動時) -10 °C (14 °F) ~ +60 °C (+149 °F) (停止時)

表 1 SGI 1100 Server 物理的仕様 (続き)

湿度	20%～80% RH (結露なし)
振動	
稼働時 (開梱時)	5～16.2 Hz: 0.38 mm (peak to peak) 16.2～250 Hz: 0.2 G
停止時 (梱包時)	5～27.1 Hz: 0.60 G 27.1～50 Hz: 0.4 mm (peak to peak) 50～500 Hz: 2.0 G

## 消費電力

サーバの電源装置は、最大200 WのDC出力です。AC入力の最大消費電力は、約307 Wです。

- 110 ボルトの AC 電源を使用すると、装置を完全に搭載したシステムの場合、2.80 A 消費します。
- 220 ボルトの AC 電源を使用すると、装置を完全に搭載したシステムの場合、1.40 A 消費します。

同じ場所に1ユニットのサーバをたくさん設置すると、電力消費はかなり大きくなります。設置するサーバの電力消費量を計算するには、次のような簡単な式を利用できます。

$$(\text{サーバ数}) \times (307 \text{ W}) = \text{すべてのサーバの最大電力消費量}$$

## 放熱機構

サーバには、次の冷却システムがあります。

- 交換可能なファンを3つ内蔵するファン取り付け板
- 各CPUのファンシンク (CPUは2つ)
- 電源装置内蔵ファン×1
- 本体の送風装置×2

最大構成で最大作業負荷がかかった状態の SGI 1100 Server は、約 1047 Btu/hr の熱量を発生します。サーバ周辺の気温は、サーバの前面と背面では、25 °C (45 °F) ほどの差が出る場合があります。同じ場所にたくさんのサーバを設置している場合は、かなりの熱量を発生します。たとえば、最大作業負荷がかかっているサーバが 36 台ある場合、37,692 Btu/hr もの熱量が発生します。

## 設置場所の選択

通常のオフィス環境であれば、サーバは高い信頼性で稼動します。以下の条件を満たす設置場所を選んでください。

- システム近くに、正しく接地された 3 ピンプラグ用のコンセントがある場所。
  - 米国およびカナダ：100-120 V の NEMA 5-15R コンセント、および 200-240 V の NEMA 6-15R コンセントのある場所。
  - 上記以外の地域：その国の電力関係省庁または地方自治体が定める規格に準拠して正しく接地されているコンセントがある場所。
- 清潔で過度のほこりがない場所。
- 通気性に優れ、高熱の発生源から離れている場所。サーバの通気口の前に障害物を置かないでください。
- 振動や物理的な衝撃を受けない場所。
- 強い電磁波の影響を受けず、エレベータ、コピー機、エアコン、大型の換気扇、大型の電気モーター、ラジオ、テレビ、高周波数のセキュリティ装置など、ラインノイズを発生させる電子機械が周辺にない場所。
- 電源装置またはコンセントからサーバの電源コードを簡単に外せるスペースを確保します。サーバから AC 電源を切り離すには、コードを外す必要があります。
- 冷却と空気循環のために、本体の周辺には十分な隙間が必要です。



**注意：**電磁波の乱れがよく発生する地域では、サージ抑制器にコンピュータを接続し、電磁波の乱れが発生した時には、通信回線をすべて取り外すようにします。

## 外部装置の接続

モニター、キーボード、マウス、その他の外部装置を、図1と表2の情報を参考にして接続します。

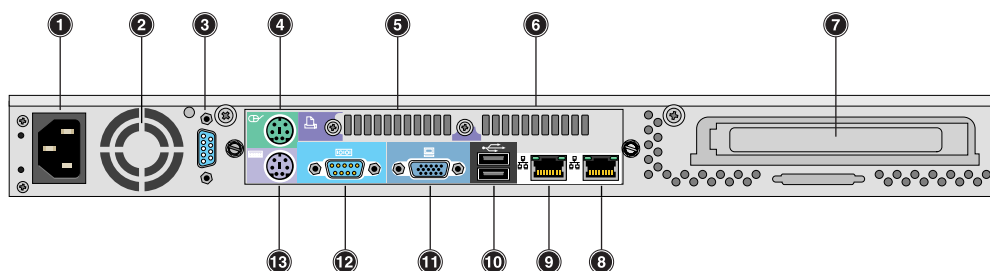


図1 背面パネルのI/Oポートとその機能

表2では、図1に示した背面パネルのI/Oポートとその機能について解説します。

表2 背面パネルのI/Oポートとその機能

番号	項目
1	AC 電源入力
2	通気口
3	シリアルポート2
4	PS/2 マウスポート
5	通気口
6	通気口
7	アドオンカードのブラケット
8	LAN 2 ポート (RJ-45)
9	LAN 1 ポート (RJ-45)
10	USB ポート (2 ポート)
11	VGA ポート
12	シリアルポート1
13	PS/2 キーボードポート

## 本体前面の制御スイッチとライトの使用

図2では、前面の制御スイッチとライトの位置を示します。

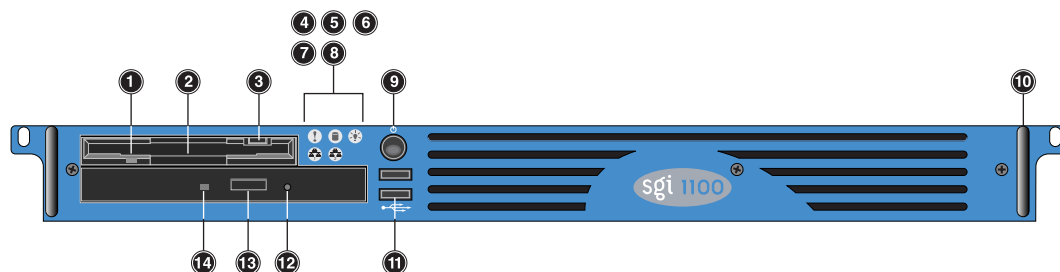


図2 前面の制御スイッチとライト

表3では、図2に示した前面の制御スイッチとライトについて解説します。

表3 前面の制御スイッチとライト

番号	項目
1	スリムタイプのフロッピーディスクドライブのLED
2	スリムタイプのフロッピーディスクドライブ
3	スリムタイプのフロッピーディスクドライブのイジェクトボタン
4	イベントLED
5	ハードディスクドライブアクセスLED
6	電源LED
7	LAN 2 アクセスLED
8	LAN 1 アクセスLED
9	電源ボタン
10	金属製のツマミ
11	USB ポート (2 ポート)
12	スリムタイプのCD-ROMドライブの緊急用イジェクトボタン

表 3 前面の制御スイッチとライト (続き)

番号	項目
13	スリムタイプの CD-ROM ドライブのイジェクトボタン
14	スリムタイプの CD-ROM ドライブの LED

## システムの起動

システムを適切に設定して、必要なケーブルをすべて接続した後に、電源ボタンを押してシステムに電源を入れることができます。

システムが起動すると、ウェルカムメッセージが表示されます。その後は、電源投入時の一連の自己診断 (POST) メッセージが表示されます。この POST メッセージは、システムが正しく稼働しているかどうかを表示します。

---

**メモ:** 電源ボタンを押してもシステムに電源が入らない、あるいは、起動処理が行われない場合、起動が失敗した原因究明のために、次のセクションを参照してください。

---

自己診断メッセージのほかにも、次の項目を確認して、システムが正しい状態にあるかどうかを判断できます。

- 前面パネルの電源 LED が点灯 (緑) している。
- キーボード上の Num Lock、Scroll Lock、Caps Lock などの LED が点滅する。

## 電源投入時のトラブルについて

電源を投入してもシステムが起動しない場合、以下の項目が起動失敗の原因となっていないかを確認してください。

- 電源コードがきちんと接続されていない可能性があります。  
コンセントとサーバの背面パネルにある電源入力ソケットの両方を確認して、電源コードが接続されているかチェックします。装置の各ケーブルが、適切に電源装置に接続されていることを確認します。
- コンセントに電流が供給されていない場合があります。  
コンセントをチェックするために、電力会社に問い合わせます。

---

**メモ：**これまで説明した対処方法を行ったにもかかわらず、システムが依然として起動しない場合は、販売代理店または資格のある技術者にお問い合わせください。

---